

## 京丹後市学校再配置基本計画(素案)説明会

- 1 開催日時 平成 21 年 8 月 4 日 (火) 午後 7 時 30 分～午後 9 時 1 0 分
- 2 開催場所 野間基幹集落センター
- 3 出席者 中山市長、米田副市長、米田教育長、藤原財務部長、和田市民部長、水野教育次長、藤村企画政策課長、松梨弥栄市民局長、増田学校教育課長、安達社会教育課長、栗倉教育総務課長、秋山指導主事、土出社会教育課長補佐 計 13 名  
(地元出席者) 3 0 名  
(報道関係者) 毎日新聞 京都新聞

### 4 内 容

- (1) あいさつ
- (2) 資料説明 ①京丹後市学校再配置基本計画 (素案)  
②京丹後市立学校施設の耐震化計画 (素案)
- (3) 質疑応答

### 5 要 旨

- (1) 開会あいさつ及び経過説明 (中山市長)
- (2) 資料説明  
①京丹後市学校再配置基本計画 (素案) について (米田教育長)  
②京丹後市立学校施設の耐震化計画 (素案) について (水野教育次長)
- (3) 質疑応答

#### 【出席者】

この学校の再配置について、分科会の討議の回数は各町で統一されたんでしょうか？

#### 【教育長】

各町で統一はしておりませんが、8回というところが一番多く、12回開催しているところもあります。だいたい約1年半ぐらいかかってしております。

#### 【出席者】

分科会の人選は、どういう経緯で人選されたのか。人選についてどういう基準でされているのか。

#### 【教育長】

人選につきましては、子供に関係するPTAの関係者や学校評議員など学校にかかわってくださっている方を中心に選びました。教育委員会としては、自由に意見を聞かせていただいて、その意見を20人くらいで構成する検討委員会へ報告し、まとめていただくという方法をとりましたので、組織としてではなく、個人的でもいいから率直な意見を出してほしいと依頼しました。

**【出席者】**

私が感じたのは、学校再配置には当然統廃合が関係してくるので、検討委員会や分科会で協議されるなら携わっていきたいという方がおられたら、その方を入れて積極的に意見を取り入れる方法をとったらよかったですと思いますが、教育委員会ではそういうことは考えなかったのですか？

**【教育長】**

積極的な方を探してくださいと依頼すれば、参加された方に負担がかかり、また自由な意見が出にくいので、そういうことは考えておりませんでした。

**【出席者】**

野間の小学校がなくなることは、学校が地域に果たしてきた役割を考えたら、地域の活性化がどうなるのかと思っています。いろいろな思いがありますが、やっぱりこれから子供を育てる方や今子供さんを育てているそういう人たちを優先してもらったらいいと思っています。ただ、学校の再配置について、適正規模が最大の要因になっているところに問題があると思います。人数が多いか少ないかというのは、教育活動や子供が巣立っていく過程の中での一つに過ぎないというわけです。ところがそれが全てであるかのような言い方をされているのが気になっています。小規模校の否定的なところばかりだされていますが、実際には困難な状況の中でも本当に一生懸命にさせていただいた先生方や地域の皆様の力を借りて、みんな立派に育てているわけです。私は、この基本計画の書き方は学校の先生方もそこで育てている子供やそこで育てている親たちの気持ちを逆なでするものだと思います。実績としてないんですか。小規模校でだめだってことばかりですか。大規模校だったらよいことばかりですか。人数が20人だったら絶対良くなることが何処にあるんですか。20人ということが教育的に本当に適正だという根拠があるのですか。

私は、統合するかしないかは子供を育てる親たちに任せてあげたらいいと思っているのですが、自分の中にこういうことを書かれる事について許せないという思いが強いです。

**【教育長】**

今のご意見について、言われますように小規模化における影響とか否定的な面だけを取り上げております。しかし、検討分科会の中でもいい点は非常にたくさん出されておりました。京丹後市でも学校の様子を見させてもらっていますので、当然非常に頑張っておられるのも良くわかりますし、特に複式学級を持っておられる先生はとても大変です。しかし、ここに書きましたのは、小規模校にも大規模校にないよいところはあるけれども、大規模校でないと育ちにくい点もあるということです。小規模校におられるお母さんからは、やっぱりコミュニケーション能力とかは、大規模校に入ったときに控え気味になるなどの意見が非常に多かったもので、ご指摘の事はありますけれどもこういう意見のあることで御理解くだ

さい。

**【出席者】**

統廃合するということは決まっているのですか？検討の余地があつて説明会をしておられるのか。息子も帰ってきたいと言っていますが、学校もないようなところに帰ってきてどうするんですか。若いもんが帰ってきたいといつても教育上不安があつたらそんなところに帰ってきたくはないでしょう。

**【教育長】**

決まっているのかという点ですが、我々としましては、この考え方が望ましいということで説明させていただき、御理解を得ていきたいと思っておりますけれども決めているわけではありません。ご理解を得る手続きが必要だと思っております。それから、地域の活性化との関係ですが、学校というのは何といつても子供たちが一日の大半を過ごしていく中で、教育を受けて成長していく場ですので、子供たちにとってどういう環境がいいのかしっかりと検討していかなければと強く思っています。その上で、仮に統合ということになったとして、跡地をどうするのかということについては、地元の皆さんとよく相談させていただきながら、地域の活性化の上で一番望ましい方向を一緒になって考えながら、跡地利用及び跡地整備をしていくことは欠かせないと思っております。

**【出席者】**

子供にとって、どういう環境がいいのかということの最終的な判断は親にあると思っております。

たとえば、私が最初にしましたのは、学校が始まってから毎日小学生の子供達と一緒に迎えにいつて、学校へ一緒に歩いていきました。すると、上からも向こうからも地域の人が出て、そこで全部そろつて「頑張れよ」と声をかけたり、途中では、通る車がみんなクラクションを鳴らしたり手を挙げたりするなどそういう形で地域の子供達と関わってもらつて、少ないですけどもそういう環境が逆に元気をもらつて、毎日頑張つてやっけていくかというのもあるわけです。だから、そういう今の条件で、子供を育てたいという判断をされたら、それを尊重するのがあたりまえだと思うんです。それを教育委員会や行政のほうから、小規模はこういう点があるから再配置すればよろしいと、上からそんなふうにするのは僕はおかしいと思っております。学校は、父母と子供のものですよ。教育権は親にあるわけですよ。親が判断するわけですよ。親が判断するための素材を教育委員会や行政が提示してもらつたらいいわけですよ。僕はそう思っています。その提示の仕方があまりにも侮辱的だと思っております。

**【教育長】**

今の件と関わりがあると思ひますし、弥栄町での検討分科会の様子をお知らせしておきたいと思ひます。

～8回の検討分科会の検討経過を説明～

このように、最終的にはどうしても人数ということになりますけれども、どういう環境で子供達が学習するのがいいかというのを本当にいろいろな意見を闘わせながらしっかり議論して、具体的な作業に入っていったという経過があるということをお知らせしたいと思っています。

#### 【出席者】

子供の教育は親が決めたらいいと話の中で、保護者としてもまた地域の人間としてもちゃんと指導したいと思いますが、なかなか今の保護者からは意見が出にくいです。これは、今の小学校は11人いるんですが、この人数が継続するのであれば、みんなで「統合するな」と声を大にしていうと思うのですが、このままいくと4名前後になってしまうということがあります。かつては、保護者や地域の方々が協力して、子供たちが地域に戻ってくるようにすることや野間地区外で生まれた人たちを野間へ移住してきていただくなど、それぞれが子供達を増やす努力をしてきた経緯があります。また、学校の整備作業では、老人会の方とか消防団の方とか本当に大勢の方々にご協力をいただきました。みなさんが強い思いをいわれましたけれど、これはそれだけこの学校が地域の中で支えてもらっている証だと思います。

そんな中で、私達は非常にしゃべりにくいですが、何とか地域の中で学校を存続したいという強い思いがある反面、4人で本当に大丈夫なのかという不安も同時にあります。その辺の大きなジレンマが私の中にあります。

そういった面で、私が心配しますのは、例えば竹野小学校は平成22年に再配置となっていますが、ここの学校だけではなく、新しい地域にも影響を及ぼすという点ではPTA活動もどうなるのか、間人小学校に統合して竹野小学校の地域の人たちはどう関わっていくのか、その内容もPTAの中で話されていないと思います。このように、25年までにどういう過程で進めるのか漠然としていて、特に小学生の場合は、通学の3キロがどういう範囲になってどうなるのかなど詳しいことも理解してないのです。そういう今苦しい思いでいるということを理解していただきたいと思っています。

#### 【教育長】

竹野小学校の経緯等について、簡単に説明しておきます。

竹野小学校も第1回目の説明会でいろいろな意見が出ていました。子供が少ないし、やがては統合しなければならいけれども、小学校は地域の拠点となっているとかいうことです。しかし、逆に地域のほうからできるだけ早くという意見もありました。このため、22年度で提案をしました。そして、PTAもアンケートをとられたりしながら、7月の終わりに臨時総会で決められました。

この臨時総会で決めるまでの協議では、学校に関わってきた方からは1年でも長く伸ばして欲しいとか地域の伝統だとかいう意見もありましたが、最終的に子供を優先するのか地域のことを優先するのかで、やっぱり子供のことを優先して

欲しいという思い切った意見があり、年配の方もPTAの考えを支援するという  
ことでスムーズに終わりました。

臨時総会には、会員のみでの参加で、質問等に対応するため、決議をするまでは  
教育委員会も出席するようというところで行かせていただきました。それまでに、  
間人小学校の校長先生と竹野小学校の校長先生、それからPTA会長同士が話を  
されました。すでに、竹野小が来るということをおられたので、間人小  
PTAの方針の中にも温かく迎えようという文も入れておられたようです。そう  
いうこともあり、非常に竹野小PTAの方も安心しておられて、本部役員として  
話していこうということで決議をされ、20人の会員の17対3で統合するとい  
う結果を出された経過があります。

これからは、最終的には9月議会で学校に関する条例が決まってからになりま  
すが、夏休みのうちに両校のPTAでは来年度に向けて協議をされています。

竹野小で一番心配されているのは、人数が少ないために、お客さん扱いになっ  
たり、そのことでいじめにあたりしないかというような意見も多く出されてい  
ましたが、学校からは問題が起こっても力いっぱい取り組んでいくと言われ、教  
育委員会もそのようなことが起こらないよう全面的に支援していくという話もさ  
せていただきました。

#### 【教育次長】

このあと、早速竹野連合区の区長さんとお話しをしまして、連合区としてもで  
きるだけのことをやっていくと言われております。

それから、弥栄町全体で1校になった場合の通学支援ですが、計画のとおり鳥  
取小学校1校に統合いたしますと、溝谷小学校では溝谷区、鳥取小学校で鳥取区、  
木橋区、和田野区、黒部小学校では井辺区が3キロ未満になりますので、特別の  
通学支援は基本的にありませんが、それ以外の弥栄全域について、スクールバス  
での通学支援を考えております。

#### 【出席者】

短く3つだけ質問したいと思います。

一つは、親がもうこの2月でだめだとか、もう子供が2人だからだめだとか、  
親のほうから統合してほしいという声が出るまで待てるのか待てないのか。

二つ目は、もし統合ということになった場合、廃校になってしまったらどうし  
ようもないわけですから、休校措置はとれないのか。

もう一つは、教育や子育ての面でどうこう言われますが、現場の先生の声が全  
然だされていない。現場の意見はどのように聞いておられるのか。今携わって  
おられる先生の意見を聞くという機会というのは持たれることはあるのかないのか。

#### 【市長】

親から統合と意見が出るまで待てるのか待てないのかということですが、親  
の意見は大切であることは言うまでもありませんが、質疑の中で説明し理解を求

めながら、今後もいろいろなご意見を聞かせていただいて、最終的に意思決定をしていくのが望ましいと思っております。

**【教育長】**

休校措置というのは検討できると思いますが、休校措置にすると学校そのものを残すということになります。跡地利用を考えると休校措置であれば何もできないということになります。この件につきましては、もう少し調べて考えていきたいと思っております。

それから、現場の先生の声を受けないのかということですが、現場の先生に直接意見を求めたことはありませんが、校長会や教頭会などいろいろな会議の中で状況を説明しています。ですから、学校の職員会議などで説明をしている先生もあると思っております。現場の意見をまとめて提出するようなことについては指示しておりません。

**【出席者】**

地域の活性化と学校について、滋賀県のある村の小学校で、地元の小学生が一人もいない小学校ですが、大阪や神戸から、大規模校では対応できない子供達の親に対して、小規模校での生活を全国に募って子供達を呼び寄せ、学校を守っていくことが地域づくりだという逆転の発想で取り組まれていました。

このような逆転の発想で学校を残しているというところもありますので、その辺を含めて検討の余地はないかと思っております。

学校と地域について、もう少し考えてもらえればと思っております。

**【出席者】**

わたしは、鳥取小とは別にもうひとつ大きな学校を建てて欲しいと思っております。

**【市長】**

学校の再配置計画の議論は、財政などの問題もありますので、新設の学校については基本的に考えないという前提でスタートしました。弥栄町の場合は、鳥取小をベースにしながら、同時に新築ではないですけれども増築しなければいけないわけです。

したがって、弥栄町全域から児童が通って、十分に学校活動をしていただけるだけの施設が必要だと思っております。このため、増築の過程でどういう特色を出していくか、どういう機能が必要かということ十分に聞きながら、とにかく子供の学校生活に必要な環境を整備していかなければならないと思っております。

**【出席者】**

感傷的なことしか言えませんが、野間の地域は、人情があついで、子供たちの親でもなく先生でもない地域の人たちに子供たちを育ててもらっているところです。わたしも子供の意見も聞かんと野間小に来たのですが、確かに人数が少ないのでしんどいことはたくさんありますが、でもやっぱり地域に小

学校という場所があって、それを中心にみんながパッと集まれる、子供にも大人にもみんなにとって拠り所となる大切な場所なのです。一番肝心なのは、子供が少ないというハンディに対するサポートは、教育委員会の仕事と違うのかと思います。うちの子供たちはもう卒業しましたが、つらいときがあって、教育委員会も親も家にみんな集まってもらい、話を聞いていただいたりしたこともあったわけですが、こういうことができるのも少人数のPTAのつながりがあったからだと思います。

子供達も見破っていて、統合はお金がないからというのがみんな暗黙の了解で知っています。こういうことを子供に思わせることが、豊かなこの日本の国で、本当にお粗末な話だと思います。

この資料だけを見ていたら、何か耐震性など数字で書かれたら仕方ないと私たち素人は思ってしまいます。合併のときの話でも、あれよあれよという間に進んでしまい、わからないうちに合併してしまって、結局年寄りの人からは「合併してもええ事何にもなかったわ。」ってよく言います。だから、もうちょっと机の上で考えるだけではなく、感情的になりすぎたら物事はまとまらないと思いますけども、私たちはもっと地域のことも考えてほしい、そういう思いを伝えるしかないんです。

#### 【市長】

小規模校で親や地域のつながりとか、非常によい人間関係ができていているというのは十分理解しております。逆に、中規模校では資料にもありますように多様な学習形態や活動ができ、またいろいろな先生方との出会いがあったりするなどのよさもあります。我々は、そちらに注目して、考え方を提案させていただいているわけです。

また、一つだけ誤解されておられるところもあるので言わせていただきたいのですが、再配置はお金がないから行うということではありません。もちろん市の財政もそんなにあるわけではありませんが、子供のために教育の分野には効率的かつ重点的に配分していきたいという気持ちで調整しながら進めています。

学校の再配置計画は、お金を第一や効率性を第一に考えて検討したということでは決してありません。子供達のことをまず第一に考え、どういう環境を用意してあげるのが一番いいのか、検討委員会の皆さんにもそのことを中心に検討して欲しいということを申し上げてきました。我々もそういう立場で、一番大切なのは子供達だということの中で、本当につらい地域の事情も十分自分なりにはわかっているつもりですが、何かを判断しないといけない、決めないといけないときには、理解を求めながら、納得いくような形で進めていきたいと思っています。

また、合併の話が出ましたが、地域でも本当に様々な取組みで懸命にがんばっていただいています。我々も精一杯これからも頑張っていかなければならないという強い立場でおります。まだまだ合併の効果はでてきてないと思っています。

すし、我々も不十分だと思っております。しかし、合併をしてなかったら、財政的にはもっといろんなことに制約ができて、今の状態ですらも維持できなかったと思います。そういうところもしっかりとお伝えし、同時に市民の皆さんに合併の効果を実感していただけるように、市として発展していく取組みを皆さんと一緒に考えて、進めていきたいと思っております。

**【出席者】**

私は、5人の子供がおります。上が中学に入るとき、中学の野間分校が統合になりました。5番目が野間の保育所をでたときに子供がいなくなりました。この二つの統合の中で、どれだけ地域に対してダメージを与えるかっていうことは、身をもってつらい思いをしました。

今後、話を聞く中で進めていきたいということでしたが、どこであろうと地域の皆さんは、少しでも子供を増やす努力をするつもりでおりますし、保護者もその意気込みであります。それは、どういう選択肢を選んだとしても、教育委員会としてやはり、小規模校なり田舎がいいという方を地域で受け入れ、地域に子供を増やす努力を行政と地域住民と一緒にやっていけたらと思っております。よろしくをお願いします。

**【教育長】**

是非しっかりと協力して取り組んでいきたいと思っております。

(4) 閉会あいさつ(副市長)

**【閉会 21時10分】**